



しえん
SHIEN
No.50

2025 2/1

文縁



<http://kisokobe.sub.jp/>

神戸国際支縁機構(KISO)季刊誌

【発行人】 岩 村 義 雄 〈携帯 070-5045-7127〉
【事務局】 〒655-0049 神戸市垂水区狩口台5-1-101
Tel(078)782-9697 Fax(078)784-2939
E-mail:kiso@mbe.nifty.com
【石巻支所】 阿 部 とよ子
〒986-2121 宮城県石巻市渡波町3-5-37
【熊本支所】 大 島 健二郎
〒862-0939 熊本市東区長嶺南4-4-27
【千葉支所】 嶋 田 博 信
〒294-0234 千葉県館山市布良303
年4回 2月、5月、8月、11月
購読料 一部320円+送料80円(年ごめ 1,600円)

ガザの一時的な歓喜

年末年始を昨年同様、神戸国際支縁機構の岩村義雄会長と「カヨ子基金」代表佐々木美和はシリア・ボラントニアに仕えました。二番目の都市アレppoから、1月5日に帰国しました。同日に、昨年と同様に能登半島^{オホshima}津洲市に14回目のボランティアに向かいました。何もないとしたことができていません。

シリアは10パーセントがキリスト教徒、ほとんどはイスラーム教徒です。そして、共存しています。

滞在中、イスラーム教とキリスト教が反目し合っているという偏見は現地でみかけませんでした。

21世紀に入り、ロシア・ウクライナ戦争、イスラエル・ガザ戦争、コンゴ民主共和国(旧ザイル)ベルギー領)などが続いています。即停戦に人類は持ち込めていません。戦争を阻止、抑止、平和的解決のピリオドが望めません。

トランプ旋風により超大国が自国第一主義を掲げるようになりまし

ました。強圧なアサド政権から12月8日に現政権ジャウラニ指導者に代わりまし



イスラエルのドローン攻撃で破壊されているダマスカス 2025年1月2日

察、役所、法の番人なども国外などに逃亡したりしました。アレppoは目下、東日本大震災直後のユートピアみたいです。法の規範がなくても、人々はいがみ合い、殺し合い、傷つけあいがなぜないのだろうかと思問しました。日本とアレppoも同じ人間です。人道上最大の難民という悲劇のある国です。貧しい国です。シリアはGDPが22カ国中、第126位です。貧しさの影響で盗み、犯罪が横行してもおかしくないように思えます。にもかかわらず、秩序を保つ権力である警官たちは見当たりません。

すべてがわかったわけではありませんが、目下、シリアには「法」に代わり、「宗教心」が生活の重要な規範となっています。良心が行動を律するのです。AIという人工知能が人間を上回る勢いで進化しています。AIは非宗教であり、日本人の多くは無宗教です。シリアを訪問し、仏教王国の能登半島の1年にわたる復旧、復興、再建の遅れを目前に、考えさせられます。



アレppoの中心街で植樹のためにかけつける市民 2024年12月31日 佐々木美和撮影



歓喜に包まれるアレppoの市民たち 2025年1月2日 岩村義雄撮影

新春メッセージ 躍動する兵庫へさらなる挑戦



新年あけましておめでとうございます。県民の皆様のご負託をいただき、昨年11月より知事として2期目のスタートを切りました。新たな施策や改革に取り組んだ1期目の挑戦を緩めることなく、兵庫の未来を切り拓いていきます。

第1は、若者が輝く兵庫づくり。教育費の負担軽減や教育環境の充実、不登校対策の強化、不妊治療支援の充実など、若者の不安を解消し、一人ひとりが力を発揮できる環境を整えます。第2は、誰もが活躍できる兵庫づくり。万博を機に、地場産業や農業、芸術文化など県内各地の活動現場へ国内外から多くの人々を誘うよう「フィールドパビリオン」のほか、次世代産業や有機農業の振興など、多様な活躍の場を広げます。第3は、安全安心に暮らせる兵庫づくり。阪神・淡路大震災から30年の節目を迎える中、震災の経験と教訓を次の世代につなぐ取組を強化します。特殊詐欺被害対策などの暮らしの安全を守る取組にも力を入れます。果敢な挑戦で新しい時代をひらく「躍動する兵庫」の実現には、県民の皆様と力を合わせたオール兵庫での取組が欠かせません。どうぞご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

兵庫県知事 齋藤元彦

庄司会計事務所

税理士 庄司慈明
税理士 齋藤 茂
石巻市蛇田字中埜 21
0225-93-8743



株式会社 大塚製薬工場
〒772-8601
徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原115
TEL 088-685-1151(代表)



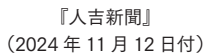
世界のパン
ヤマザキ



竹中工務店
〒541-0053 大阪市中央区本町 4-1-13
〒136-0075 東京都江東区新砂 1-1-1

熊本支部長 大島健二郎

年1月16日付）。水害の原因が市房ダムの放流、支流のバックウォーター現象、河川の川底掘削の怠慢などが住民たちから指摘されてきました。国交省は過疎、高齢化、少子化の全国的な波に対して、五木村などの発展という命題でダム建設を強行します。森林を保護するのではなく、伐採し、平場を造成し、インフラ整備を行います。限界集落が消滅集落になり、都会への一極集中が促進している時代です。相良のみならず、福岡県杷木町松末、防潮堤によって、宮城県石巻市牡鹿半島など環境を破壊しています。緑の山々を破壊するダンプカーが土煙をたてています。人為的な土木が風光明媚



そんな風前の灯のように思えるふる里で園児たちは自分たちの栽培した復幸米を収穫しました。餅つき大会楽しみました。大きな声で「べったんこ」と響き渡ります。つきたての餅を相良の独居の高齢者もいただきます。村がひとつになります。日本の原風景が一瞬、よみがえりました。



足踏み稲こき機を使って、脱穀を行う

脱穀した復刻米は、なつめ保育園で行われる餅つき大会に使用される予定です。

『広報 さがら』(2024年12月号)

熊本県緒方医院院長
緒方 俊一郎

「与一が扇的を射抜いた話は、『平家物語』などの二次史料にしか実現はない。同時に問題となるのが、与一の実在性である。実は、与一の没年も複数の説があり、定かではないのである。つまり、与一が実在したか疑わしいのだ。さらに、生きるか死ぬかという合戦の際、『扇的』を射てみたと、生きるか死ぬかということが實際に行われたのか甚だ疑問である。那須与一が扇的を射抜いたという逸話は、『平家物語』の物語性を高めるべく、源平合戦の二コマとして創作されたものに過ぎないだろう。」（渡邊大門）という意見がある。

の戦いで平家は、一門の主だった武将の多くを失った。平家は海上に逃れ、四国讃岐の国屋島で戦陣を立て直した。この情勢を見た源頼朝は弟・範頼に平家追討を命じたが、戦果を挙げることはできなかった。そこで頼朝はすでに深い溝ができてつあった義経に改めて平家追討を命じた。義経は悪天候を利用して摂津より船を出し、追い風に任せて四国阿波勝浦に上陸し、騎馬を使って屋島の背後から奇襲作戦を行った。文治元年（1185）2月19日のことであつた。平家としては元々や背後から騎馬で攻められようとは思はず、裏の防備をおろそかにしていた。一の谷に続き屋島でも背後を突かれて平家の軍団は我先にと、用意していた軍船に乗り移つた。陸に源氏の白旗、海に平家の赤い旗がひたき合つてゐた。時は2月20日午後であつた。平家の陣より一艘の小舟が陸の源氏に向かって漕ぎ來つた。船の船先に日の丸の扇が高く立てられ、一人の官女が源氏の陣宮に向かって差し招いた。義経の軍勢は「この扇を射てみよ」ということであらうと、すぐに弓の名人を募つた。数人の名前が挙げられたが辞退した後には弓の名手・那須与一宗高にこの任務がゆだねられた。

この時平家の小舟の船先に立つてこの扇を支えていてをを差し招いたのは玉虫御前であつた。平家の軍船には多くこの官女が行動を共にして乗りあはせていた。一の谷から屋島へ渡つたや壇ノ浦の合戦のたびにこれらの官女も船と運命を共にしてゐた。ある日は將兵とともに陸に逃れて四散したのであつた。(余談一一因説によれば、壇ノ浦に上陸した多くの官女たちは生活に困窮し、自ら春を売り、それが石(下関)の女郎衆へと発展したとも伝えられてゐる)

 **KINSAN** 夢に近づく
夢を産み出す…

KS 近畿産業信用組合
組合コールセンター
0120-111-019

全国書店にて
好評発売中です
www.bible.or.jp
日本聖書協会



うきうき健康倶楽部
～肋骨エクササイズスタジオ～
TEL:080-3034-0011

実りの秋を迎え、石巻市さくら町の学校法人伊賀波学園長濱功雄君（後藤電記44人）の年長組園児4人が15日、渡波際の田んぼで昔ながらの「足踏み脱穀機」を使った稲の脱穀を体験した。米作りの体験を通して農業への関心と自然の大切さを学んでもらおうと、石

園児が昔ながらの
脱穀作業に挑戦

長浜幼稚園

豊後地方でボランティア活動を行っている神戸国際支縁機構（岩村義雄会長）との協力で、同日の恒例行事。



話していた。
脱穀した米は約80
で精米したうえで、
500gずつに分けて
全園児と渡渡地区で一
人暮らしをしている高
齢者に配り味わって
もらう。

『牡鹿新聞』（2024年10月18日付）13回目の脱穀。

昔ながらの
道具で脱穀

石卷市・長浜幼稚園

「取り外した。もう一度、一般団員、神戸田際支福徳機、川村義雄代表、兵庫神戶市」と同時に閉鎖し、年長を対象、毎年組体操もしている。今年も同市遊戯にある400人ほどの田んぼでひらめびの田植えから稲刈りまでを終え、脱穀作業に入つた。田んぼを訪れた岡原久夫は「こんなにたくさんをやるのは、こんなにのびがります。苦



勢いよくもみが飛び園児の歓声が響いた

『石巻日日新聞』（2024年10月28日付）。

クリスマスケーキ

第158次東北ボランティア

本部長 村上裕隆

宮城県石巻市渡波で、長浜幼稚園の園児たちと13回目の復幸米づくりを楽しみました。無農薬、有機、除草剤なしで「ヒトメボレ」をトロトロ層づくり、田植え、稲刈り、天日干し、脱穀です。自然豊かな地で走り、昆虫に興味を示し、稲が身の回りの生活にとってかけがえのない働きをしていることを体験しました。天日干しは夜間に露がしたたります。昼間には太陽の下で、ミネラルが蓄えられ、おいしいお米になります。大人になって、コンバインなどの機械がなくても、自力でわずかな空き地で米を作る体験をしました。自分たちの食べる量は自分たちでつくれるのです。亀山繁さん、石巻森林組合、地元の農家津田新一さん、保原政美さんが協力してくださいますから感謝です。

石巻祥心会施設にクリスマスケーキ 神戸の復興支援団体、今年も

（石印）（清）三才月記堂



資料本文で随時利用者にアクセス可能な資料代産(右端)

東日本大震災被災地の復興支援に取り組む社団法人「神戸国際支援機構」（神戸市）は17日、石巻市門脇の社会福祉法人「石巻祥心会」にクリスマスケーキを贈った。

機構の活動に賛同する「玉の肌」(東京)の三木晴信社長の寄付金で70個のケーキを用意。このうち27個を祥心会にプレゼントした。この日は、機構の岩村義雄代表らが、祥心会の障害者支援施設「ひたかみ園」を訪れ、クリスマスより一足早く、利用者らにケーキを手渡した。

真籠（まごめ）秀樹さん（66）は「みんなで食べます」と笑顔で受け取った。

祥心会へのケーキの寄贈は13回目、穴戸義光理事長は「10年以上たっても、私たちを忘れないでいてくれてありがたい」と喜んだ。サンタ姿の岩村代表は「ケーキを喜んでくださるのが毎回楽しみ。皆さんと交流できることに感謝している」と話した。

16、17日は機構の職員5人が同市などを訪れ、老人ホーム利用者や1人暮らしの高齢者などにもケーキをプレゼントした。

クリスマスケーキ 『石巻かほく』(2024年12月22日付)。

『石巻祥心会』（2024年12月25日）。

『石巻日日新聞』（2024年12月20日付）。


TAMANOHADA
代表取締役 三木 晴信
〒130-0021 東京都墨田区緑 3-8-12
tel 03 3634 1345 fax 03 3635 4124
URL: www.tamanohada.co.jp

近きききパートナーを目指して
設計 住宅・教会・福祉施設など
監理 一級建築士 南 俊治

☐ 神戸市中央区八幡通4-2-10-201
☐ K:090-6983-4377
☐ E-mail:CQN05405@nifty.com

南俊治建築研究所

<https://www.munashi-architect.com>



弁護士法人
荻屋西宮市民法律事務所

 **津久井 進**
日弁連災害復興支援委員会委員長
兵庫県弁護士会前会長

TEL: 0798-68-3161

ミヨシ共栄株式会社

東京都墨田区緑3丁目8番12号

事務局便り

理事長 本田寿久

スペイン国で欧州最大の水害が2024年10月29日(火)にバレンシアを襲いました。各メディアの災害報道はボランティアの本質を覚醒させたのではないのでしょうか。阪神・淡路大震災からおよそ30年にわたり携わってきた日本のボランティアは日本特有の官僚制・行政主導・管理システムに陥っていること、差異が明らかになりました。去年元日に能登半島を襲った積雪、地震、津波の復興、復旧、再建が遅々として進んでいないのと対照的です。

日本のボランティアの在り方はこれまでの「官」主導、あるいは官出身者の上から目線、トップダウンの指導が理想的であるかのように報道してきたこと自体が問題でした。全国的に画一的になった制度の反省・総括・方針転換を求めるものです。



『朝日新聞』(2024年12月18日付)

スペイン国バイボルタは最大の被害地点です。約215名の犠牲者のうち、80~90名が亡くなっています。老いも若きもホーキ、バケツ、ちり取りをもってかけつけてきました。

それも、10キロ、20キロを歩いてやってくるのです。岩村義雄会長と、佐々木美和事務局長もかけつけ、現地で涙しているひとたちに寄り添いました。『NHK』は日本からのボランティ



神戸ベトナム人会 2024年 12月22日



和楽寺 2024年12月28日

アとして放映しました(2024年12月12日午後5時9分)。奥能登に向かう神戸国際支縁機構にとり、スペイン、シリア、モロッコ等の民の被災地支縁はたいへん刺激を受けます。

日本人類学会会長のマイケル・シャクルトンさん(神戸国際支縁機構理事)は国際交流を推進する上で有益な働きを提案くださいます。

神戸、阪神間、兵庫県には、バングラデッシュ、ミャンマーからの学生や移住者が増えています。ベトナム人はネパール人と共に生活が定着して、3世の時代になっています。マイケル・シャクルトンさんの最大の関心事のひとつです。12月13日には、愛知県からベトナム語を教える学校設立のため、2017年11月、第3次ベトナム水害ボランティアに同行なさったレ・ティ・トゥ・フォンさんと教師が神戸に相談に来られました。シャクルトンさん5人で会合しました。和楽寺(神戸市長田区)のティック・ドック・チ住職(第7次ベトナム)などとも提携して協議しています。忘年会には和楽寺に200人以上が参加されました。

毎年、神戸国際支縁機構は2018年以降、神戸ベトナム人会(ブイ・ティ・オアン会長)が主宰する子どもたちの集いに出席しています。

趣旨に賛同してくださる方は、何口でも結構ですので、ご協力をお願いします。

本会員は、一口2,400円/1年 賛助会員は、一口5,000円/1年

・郵便振替

口座 00900-8-58077

加入者名 一般社団法人 神戸国際支縁機構

・三菱UFJ銀行

462(三宮支店) 普通 3169863

加入者名 神戸国際支縁機構 岩村義雄

海外の災害緊急募金には書ける方は『国名』を書き添えてください。

(一社) 神戸国際支縁機構

ボランティアや移住者募集中

農林漁、および在宅被災者戸別訪問にご協力ください。医療関係者歓迎します。

被災地への支縁物資もお願いします。

年会費をお願いします。(月に200円)

会員(年度4月~翌3月)の皆さまには、季刊誌などをお送りします。

海外の孤児のために支縁金をお願いします。

「小さくされた人々のための福音」講座

毎月第3金曜日

午前10時~

神戸学生青年センター

本館1階

岩村義雄セミナー

毎月第4月曜日

午後6時半~

ミント神戸17階

編集後記

私は翁明次と申します。62歳です。ベトナム・ポートビブルとして、日本にきました。1973年4月30日に母国は南北統一されました。アメリカ軍はベトナムに敗れました。私の家族は、ベトナムから1980年12月1日、ノルウエーの貨物船に乗船して、日本を目指しました。ベトナムからの165人は持ち物をゴールドに換えてから運賃代として乗船しました。私は13歳でした。日本に命からがら逃げてきたのです。横浜港から陸路で神戸にやって来ました。日本語もできませんでしたが、生きていくために何でもしました。ケミカルシューズの営業をしながら、結婚をし、子育てに励み、帰化し、今日にいたります。孫がいる1世のベトナム人の多くはまだ日本語が不自由です。一方、孫たちは日本語しか話せません。世代間のギャップがあり、コミュニケーションができない問題をどうするか、やはり日本にベトナム人のために母語であるベトナム語を教える学校が必要と痛感します。そのために神戸国際支縁機構などに相談しています。よろしく願います。

翁明次

右 翁明次 手前左 岩村義雄
2024年12月28日

救援金、維持会費のご協力を感謝します。(敬称略)

2024年10月20日~2025年1月23日

1,366,910 円

佐々木美和、岩村義雄、前川和弥&幸子(4)、さかいようこ、保田 薫、千葉幸一(宮城県石巻市)(4)、平澤久紀、玉の肌株式会社、阪上留実子、沖浦宏隆(千葉県布良)(3)、新地和恵、竹内喜子、東原良学、新免 貢、緒方眞喜代(熊本県相良)、ミヨシ共栄株式会社、山本 桂、村上章夫、福田雄二(熊本県相良)、白方誠彌(2)、湯川紘未、渡邊 徹、大槻良文、神戸ユニオン教会(2)、山本陽子(3)、原 浩司(2)、山脇貞司、池田裕子、オリーブの木キリスト教会、小菅あゆみ、カワグチハコネ、宝塚人権委員会、宝塚九条の会、橋本成年、麻田光広、西上千栄子、宝塚栄光教会、岩間 洋&千恵子(4)、神戸新聞文化センター、村上安世、三浦一敏&こう子(宮城県石巻市)、坪川佳史(石川県金沢市)、穴戸義光(宮城県石巻市)、的野慶子、河村ひとみ、からだ会議実行委員会、木村ふみ子(宮城県石巻市)、宮坂信章&和子、松岡 齊、河内常男、特定非営利活動法人兵庫共助会、弓矢健児、西堀 元、村田優美子、藤 玄洋(朝倉市西宗寺住職)、春名純人、袴田康裕、大島健二郎(2)、祐照寺(古川真照住職)、熊野以素、佐竹直美、中山圭子、保田 茂(2)、加藤賢宗(石巻市浄音寺住職)、尾上健一、尾関マユミ、永野由美子、兵庫県立いししま自然体験センター、萩本義郎、中村清雅、北村恭男、Moses Paul & 早瀬裕子、石井久雄、岡本毅一、林かれん、沖 菜穂子、嶋田礼子(千葉県布良)、八尾和樹、宮氏道夫、石井泰代、野田健二、金光教多良木教会、声名定道、坂井純人、民部綾子、中條和子、KISO 牧場、中山喜世子、豊島睦子、糸井佳子、阿部艶子、山田通裕、金 貴順、朝日泰治&華子、相浦恵子、土手ゆき子、土手 朋、大西 孝、朴 淳用、佐野二三雄、佐々木貴子、有田 真一&美榮子(2)、金 恒勝、(株)ハミングジョー(2)、能城一郎、藤野知香、浜崎照夫、出村正廣(石川県珠洲市)、大谷洋子、瀬口昌久、佐々木駿介、阪上順子 砂丘の会代表、梶山洋枝、岡部和香、櫻井由里子、大嶋善直、釧路キリスト福音館(2)、ホームチャペルキリストの花嫁、森 祐理、庄司慈明(宮城県石巻市)、岩本久吉&眞子(福岡県松末)(3)、主イエス恵愛教会、高橋 務、日本キリスト教団芦屋三条教会、明石バプテストキリスト教会、日本キリスト教団久宝教会、糸島聖書集会、木村公一、吉持志保、佐々木基文(西光院住職)、在日大韓基督教教会 神戸教会、阿部和夫&斉子(宮城県石巻市)。

支縁物資感謝申し上げます。

フードバンク関西、深江のみなさんから茶菓、神戸ユニオン・チャーチから菓子、平澤久紀澤から衣類、樋口寿喜江(福岡県松末)から食材、中村優子(佐賀県武雄市)からコーヒー、梶原ミドリ(福岡県朝倉市松末)からコーヒー(2)、徳留由美から支縁物資など、鳥越肖男から入浴券、なつめ保育園(緒方眞喜代園長)からミカン、Mohamed Waqas Ashmed 夫妻から食事、ドーラ・オルティエシからナッツ、アンナ・カマチョからコーヒーなど、前川幸子からおにぎり、山崎留実子から絵はがきなど、川崎栄子からカレンダー、ウリハッキョから飲食券、前川和弥から会食、津野さおりから暖房具、阿部和夫(宮城県石巻市)からみかんなど、木村勝&木村ふみ子(宮城県石巻市)から手芸品など、丹野恵子(宮城県石巻市)から海苔、佐藤金一郎&晴美(宮城県渡波)からコメなど、亀山紘(宮城県石巻市市長)&紀子から菓子、齋藤正美(宮城県石巻市市長)からカマボコ詰め合わせ、本田敏子(宮城県石巻市)から海苔、菊地敏子(宮城県渡波)から手製小物、玉の肌株式会社からクリスマスケーキ、穴戸義光(宮城県石巻市)から焼酎、横山恵子からカレンダー、東垂水ルートル教会から消毒剤、ベトナム・クリスマス会から菓子、村上安世から靴下など、前川和弥&幸子から高麗人参など。中永公子からご著書、藤野知香からカイロなど、馬部省一さんから魚、ティック・ドック・チ(和楽寺住職)から菓子など、Nell Ly からザータなど、Addai Hamer & Lilian から菓子、Nadja George から cross、本田寿久から献金箱など